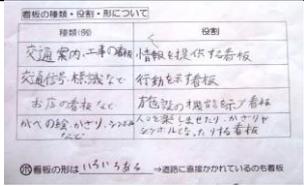


① 事業実施報告書詳細

学校名 八戸市立小中野小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2 (9/28)	教室	●外部講師(大学教授: 景観学習の専門家)による特別授業。 「景観とは?」 「世界の看板」 「看板の種類や役割」		「景観」について理解し、看板も景観の一つであるという新たな見方をもつことができた。
1 (10/6)	教室	●外部講師から教えてもらった内容をもう一度整理しながら、自分たちの住む地域にはどんな看板あるのか、関心を高めた。		自分たちが住む地域の景観(看板)について目を向け始めた。
3 (10/8 ~10/14)	教室	●「小中野地区にどんな看板があるのか」を調べる調査の計画作りを行った。		全て教えるのではなく、持ち物やグループの人数など、まず自分たちで考えさせた。5年生なりの意見を出していた。
4 (10/15)	学区	●学区調査(1回目) 大学教授と学生・保護者にも協力していた だき、学区調査を行った。 		グループごとにたくさんの看板の写真を撮ってきた。帰校してから、グループごと1枚ずつおすすめの看板の写真を紹介し合った。
4 (10/21 ~10/29)	教室	●第1回学区調査のまとめ作業。 ●どんな看板を見つけたのか模造紙に整理した。		看板の写真を分類することを通して、看板のもつ役割について理解を深めていた。
3 (11/5~ 11/17)	教室	●第1回目の調査の振り返りと2回目の調査の計画作り ●1回目の調査の感想や意見をもとに2回目の調査の計画を立てた。		2回目の調査に向け、自分なりの意見をもてない児童もいたが、感想や意見を交流することで、2回目の調査の方向性を決めることができた。

<p>4 (11/19)</p>	<p>学区</p>	<p>●学区調査(2回目) 自分たちで決めた調査テーマに沿ってグループごとに調査。 〈例〉 ・災害や事故などの際に役立つ看板を調べるグループ ・子どもやお年寄り・体が不自由な人のために役立つ看板を調べるグループ</p>		<p>1班5人程度の14班に分かれ、自分たちの調査テーマに沿って、学区を調べ、撮影してきた。 1回目に引き続き、大学や保護者と連携して調査を進めた。意欲的に調査する様子が見られた。</p>
<p>3 (12/2~12/7)</p>	<p>教室</p>	<p>●中間発表会の準備・作業。 ●1回目と2回目の調査結果を、参観日で保護者に発表することを目標に準備を進めた。</p>		<p>見つけた写真を分類・整理したり、発表原稿を書いて練習したりした。保護者に発表ということで、意欲と緊張を高めていた。</p>
<p>1 (12/8)</p>	<p>教室</p>	<p>●中間発表会(参観日) 保護者にどんな看板を見つけたのか、どんな感想や意見をもったのかなどについて発表。</p>		<p>各グループ、短い持ち時間ながら、練習の成果を生かして、発表することができた。</p>
<p>5 (1/27~)</p>	<p>教室</p>	<p>●これまでの学習を生かして理想の看板を描くという活動に取り組んだ。景観の作り手としての意識をもたせるようにした。(140周年の学校の看板など)</p>		<p>これまでの調査結果などを生かし、個人ごとに「こんな看板があったらいいな。」という思いをもとに楽しそうに制作していた。</p>
<p>2 (3/11)</p>	<p>体育館</p>	<p>●学習したことを全校に伝えよう。 3月11日の「防災の日」に、全校に「地域にある防災に役立つ看板」についてクイズを通して発表。</p>		<p>自分たちが見つけた「防災に役立つ看板」をもとに、防災クイズを作り、全校に出題。とても楽しそうだった。</p>
<p>1 (3/22)</p>	<p>教室</p>	<p>●学校の看板コンテストをしよう。 各自が画用紙に描いた学校の看板を廊下に貼り、よいと思った友達の作品に付箋を貼って投票。</p>		<p>たくさん票を集めた児童は嬉しそうだった。いろいろな作品を見て、アイデアのよさに感心していた。</p>

②学習指導案

単元名 (全 時間)	看板を通して、小中野のまちを見つめ直そう
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●自分達の学区には、どんな種類の看板があるのか調べることを通して、自分たちの住む地域を見つめ直し、理解を深める。 ●看板の種類や役割に気付かせることで、景観の一つである看板を注意深く見たり利用したりする力を育てる。 ●「こんな看板があればいいな。」という思いを引き出し、自分なりの理想の看板を紙に描く活動を通して、景観の作り手としてどんな点を注意したり工夫したりすればよいかに気づかせる。 ●「防災の日」に向けて、自分達で見つけた「防災や安全に役立つ看板」を発表し、学習したことを全校にも広める。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 外部講師（大学教授）による特別授業。「景観とは何か」「世界の様々な看板」などについて話をしてもらい、景観の一つである看板について興味・関心を高める。 2 自分達の学区には、どんな看板があるのか調査の計画を立てる。 3 1回目の学区調査に出る。 4 調査で集めた看板の写真を分類・整理し、2回目の調査の計画を立てる。（班ごとに調査のテーマを決める。） 5 2回目の学区調査に出る。 6 調査で集めた看板の写真を分類・整理しながら、参観日に行う中間発表の準備を行う。 7 2回の調査を通じて見つけた看板や気付いたこと、感想などを参観日で保護者に発表。（一人一人見つけた看板の中から、お気に入りの看板を選んで廊下に掲示し、保護者も巻き込んで「好きな看板コンテスト」を実施。） 8 「こんな看板があればいいな。」という理想の看板を自分達で考え、紙に描く。（学校の看板など） 9 自分たちが見つけた防災に役立つ看板をもとに「防災クイズ」を作り、全校に出題。学習したことを全校にも広める。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ●準備品 デジタルカメラ、学区の地図、画用紙、模造紙、 ●実施場所 教室・小中野小学校学区

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	外部講師(大学教授:景観学習の専門家)による特別授業。 「景観とは?」 「世界の看板」 「看板の種類や役割」	外部講師から教えてもらった内容をもう一度整理させながら、自分たちの住む地域にはどんな看板あるのか、興味・関心を高める。	景観の一つである看板に興味・関心をもつことができたか。
6	学区調査1回目 小中野地区にはどんな看板があるのか」調べる。	計画作りの指導(班決め、調査のルート、役割分担など) 当日は、児童の安全確認。	各自が自分の役割をきちんと果たし、調査の目的を達成できたか。
3	1回目の調査のふりかえりと、2回目の調査のテーマ及び計画作り。	1回目の調査の気づきや感想を引き出し、2回目の調査のテーマを考えさせる。	1回目の調査から、自分なりの感想や意見をもつことができたか
6	学区調査2回目 班ごとに調査テーマに沿ってグループごとに調査。	調査テーマ例 A班・・・災害や事故などの際に役立つ看板を調べる。 B班・・・子どもやお年寄り・体が不自由な人のために役立つ看板を調べる。	各自が自分の役割をきちんと果たし、調査の目的を達成できたか。
3	中間発表会の準備。 1回目・2回目の調査の結果を模造紙にまとめる。	発表の仕方や内容を指導。	調査結果を適切にまとめたり、発表内容を考えたりすることができたか。
1	中間発表会(参観日)	児童の発表の前に、保護者に景観学習の趣旨を説明。	調査結果を保護者にわかりやすく伝えることができたか。
5	これまでの学習を生かして理想の看板を描く。 (140周年の学校の看板など)	景観の作り手として、どんな点を注意したり工夫したりすればよいか考えさせる。	学習してきたことを生かして自分なりに工夫して作成することができたか。
3	学習したことを全校に伝える。 3月11日の「防災の日」に、全校に「地域にある防災に役立つ看板」について発表。	自分たちが見つけた看板の写真を「防災クイズ」につなげる。	防災クイズ作りに意欲的に取り組むことができたか。

<留意点>

- ・学区調査では、児童の安全確保のため、1グループに1名、教諭や保護者などについてもらう。

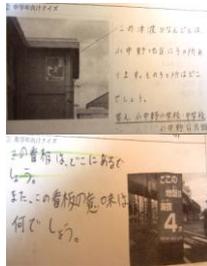
●児童の作品 その1

学習の総まとめとして、今年度創立140周年を迎えた小中野小学校にふさわしい看板を一人一人がデザインしました。
子どもならではの柔らかい発想で、個性的な作品がずらりと並びました。



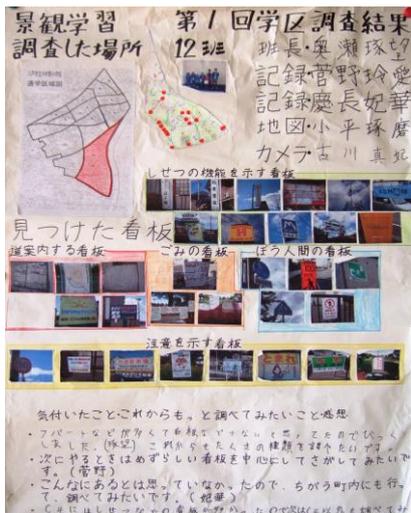
●児童の作品その2

見つけた看板の中から、防災に役立つ看板に着目し、「防災クイズ」を作り、3月11日の防災の日に関全校児童に発表しました。



●児童の作品 その3

1回目の調査後に見つけた看板を分類・整理し、模造紙にまとめました。



●児童の作品 その4

保護者も巻き込んで好きな看板コンテストを実施し、人気の高

作品を小中野公民館にも展示し、地域の人たちに見てもらいました。

